

光とことばの フェスティバル 2018

「ひらめき」

2018年10月27日[土]
17:00 - 20:00

大正大学巣鴨キャンパス
東京都豊島区西巣鴨3-20-1
申込不要 入退場自由・無料

大 正大学の表現学部1年生が中心となり企画・運営をおこなう「光とことばのフェスティバル」2018年のテーマは「ひらめき」です。竹灯籠3000基を用いた「光の道」と長野県箕輪（みのわ）町から提供されたイルミネーションオブジェが舞台となり、各分野最先端のアーティストと学生たちのコラボイベントがおこなわれます。

▼「光とことばのフェスティバル」とは

表現学部では2010年から毎年、学生の表現力と協働力を高めるため、1年生を中心とした「光とことばのフェスティバル」を実施、和紙と針金を用いた「ねぶた」制作や、竹灯籠による空間演出などをおこなってきました。9回目を数える本年度は竹灯籠に加え、学生とアーティストとのコラボイベントに挑戦します。

▼竹材について

竹灯籠には、竹需要の激減による影響で竹林の荒廃問題を抱えている新潟県佐渡島若狭地区の竹を使用します。竹灯籠による空間演出は岩首でおこなわれている「竹灯り」に学んだもので、今回で3回目となります。佐渡市は大正大学と広域地域自治体連携（コンソーシアム）を結び、2016年度から地域創生学部の学生の地域実習も佐渡島でおこなわれています。

▼プロアーティストとの共同作業

今回は各分野プロフェッショナルのアーティストを招聘、「光とことば」という基本コンセプトに立ち返りつつ、本年度テーマ「ひらめき」をキーワードとしたイベントを開催します。現代最先端の表現とこれから表現を担う学生たちのコラボレーションにぜひ注目してください。

OBA



heso



Studio仕組



1年生光の道



中本将夫



みのわTMOネットワーク

